

1. 科目名 (単位数)	情報科指導法 I (2 単位)	3. 科目番号	EDIT3344
2. 授業担当教員	唐沢 俊光		
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本講義は、高等学校教諭免許状「情報」を取得しようとする学生を対象とし、高等学校・教科「情報」の指導法の基本的事項について学習する。「情報科指導法 I」では、教科「情報」の設定の趣旨や、科目のねらいを理解するとともに、情報教育の3つの目標である、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成するための具体的な授業展開のしかたについて、実習を通して具体的に学習する。		
8. 学習目標	1. 教科「情報」の設定の趣旨を説明できるか。 2. 情報教育の3つの目標である「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成するための授業展開を、模擬授業等で展開することができるか。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	学生ごとに実践事例調査発表と模擬授業 (ショートレクチャー) を実施する。これらの課題を通して、教科「情報」に対する理論の修得と、基礎的な実践能力の育成を目指す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 山極隆監修『最新社会と情報』実教出版、2015年。 山極隆監修『最新情報の科学』実教出版、2015年。 『高等学校学習指導要領 (平成30年告示) 解説情報編』文部科学省、2019年。 【参考資料】 高等学校学習指導要領 (平成30年3月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教科「情報」の設定の趣旨を説明できるか。 2. 情報教育の3つの目標である「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成するための授業展開を、模擬授業等で展開することができるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 平常点 (授業への積極的な参加・小テスト・レポート等) 50% 2. 最終考課 (テストもしくは最終課題) 50%		
12. 受講生へのメッセージ	情報学という学問分野は、範囲が非常に広いため基礎理論をきちんと理解し、体系的に理解していくことが大切です。情報科教員を目指すには、情報に関する幅広い知識をもとに、それらをどのように指導していくかを考えることが大切です。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション 教科「情報」の理念と設置に至るまでの経緯 学習指導要領改訂と教科の変遷	事前学習	自分自身が高等学校で学んできた教科「情報」がどのようなものであったか思い出しておく。 学習指導要領解説 第1部第1章第1節を読んでおく。
		事後学習	教科「情報」の変遷について、まとめる。
第2回	教科「情報」と情報活用能力 情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度	事前学習	学習指導要領解説 第1部第1章第2節・第3節を読んでおく。
		事後学習	情報活用能力とその三観点について、説明できるようにまとめる。
第3回	学習指導要領を読む(1) 共通教科・必修科目としての「情報 I」	事前学習	学習指導要領解説 第1部第1章第4節・第5節と、第2章第1節、第3章を読んでおく。
		事後学習	必修科目「情報 I」の位置づけと、そこで学ぶ内容等について説明できるようにまとめる。
第4回	学習指導要領を読む(2) 共通教科・選択科目としての「情報 II」	事前学習	学習指導要領解説 第1部第2章第2節を読み、第3章を再読しておく。
		事後学習	選択科目「情報 II」の位置づけと、そこで学ぶ内容等について説明できるようにまとめる。
第5回	学習指導要領を読む(3) 専門教科としての「情報」とその科目	事前学習	学習指導要領解説 第2部を読んで、概要を掴んでおく。
		事後学習	専門教科としての「情報」の位置づけと、そこで学ぶ内容等について、科目ごとに説明できるようにまとめる。
第6回	情報教育の実践事例調査 調査によって学んだことの発表	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	他の受講生が発表した内容を復習し、それらの内容について考えをまとめる。
第7回	教科「情報」を支える様々な資料・教材 文部科学省『教員研修用教材』『教育の情報化に関する手引』等の資料を読む 学校図書館や校外リソースの活用	事前学習	文部科学省『教員研修用教材』『教育の情報化に関する手引』等の資料の概要を確認しておく。
		事後学習	文部科学省『教員研修用教材』『教育の情報化に関する手引』等の資料を自分なりに再度深く読み込む。情報教育と学校図書館の関わりについてまとめる。

第8回	教科「情報」の実際(1) 学校全体の教育計画における位置づけ、教科「情報」の年間指導計画	事前学習	いくつかの高等学校のウェブサイトを検索し、実際の教科「情報」の年間指導計画を確認してみる。
		事後学習	事前学習で確認した実際の年間指導計画について、評価できる箇所、改善を要する箇所を検討し、改善案を作成する。
第9回	教科「情報」の実際(2) 情報教育を推進するための方策、文部科学省等による近年の様々な施策	事前学習	文部科学省「教育の情報化の推進」ウェブサイトを開覧し、概要を把握する。
		事後学習	興味を持った施策について、さらに詳しく調べる。
第10回	模擬授業(ショートレクチャー)の準備(1) 学習指導案の書き方、単元指導計画の作成	事前学習	他の教科指導法で学んだ学習指導案の書き方を復習しておく。
		事後学習	模擬授業で扱う単元について、単元指導計画を完成させる。
第11回	「情報と科学」の調査 タブレット、Web教材(スクラッチ)など、情報機器と電子教材の活用法について紹介する。	事前学習	図書館・ネットなどで「情報と科学」から選んだテーマについて、発表のための調査・発表資料を集める。
		事後学習	「情報と科学」から好きなテーマを選び、の内容を教科書で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第12回	模擬授業(ショートレクチャー)(1) 情報の科学的な理解に関する模擬授業の実践と相互評価	事前学習	模擬授業の発表準備をする。
		事後学習	相互評価を元に、自分自身の授業実践を振り返り、よりよいものにするための改善案を検討する。
第13回	「社会と情報」の調査 電子黒板、電子教科書など、情報機器と電子教材の活用法について紹介する。	事前学習	図書館・ネットなどで「社会と情報」から選んだテーマについて、発表のための調査・発表資料を集める。
		事後学習	「社会と情報」から好きなテーマを選び、の内容を教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第14回	模擬授業(ショートレクチャー)(2) 情報社会に参画する態度に関する模擬授業の実践と相互評価	事前学習	模擬授業の発表準備をする。
		事後学習	相互評価を元に、自分自身の授業実践を振り返り、よりよいものにするための見直し改善案をまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの学習内容の中から理解できていない項目がないか教科書及びノート等を見直して確認する。様々なトレンドと情報教育の関わりについて、自分なりの意見を持つ。
		事後学習	再学習があると判明した事項について理解を深め、記憶の定着を促す。学習指導要領解説の全体を再読し、理解を深める。